



福井県 永平寺町

# 議会だより

# 第48号

平成29年10月20日発行



がんばる団体

健康長寿クラブ連合会

(※ 最終ページに紹介記事)



- 2 議会と語ろう会 テーマ
- 3 議会新委員会構成でスタート
- 5 そこが聞きたい! 議員14人が一般質問

永平寺町議会  
facebook

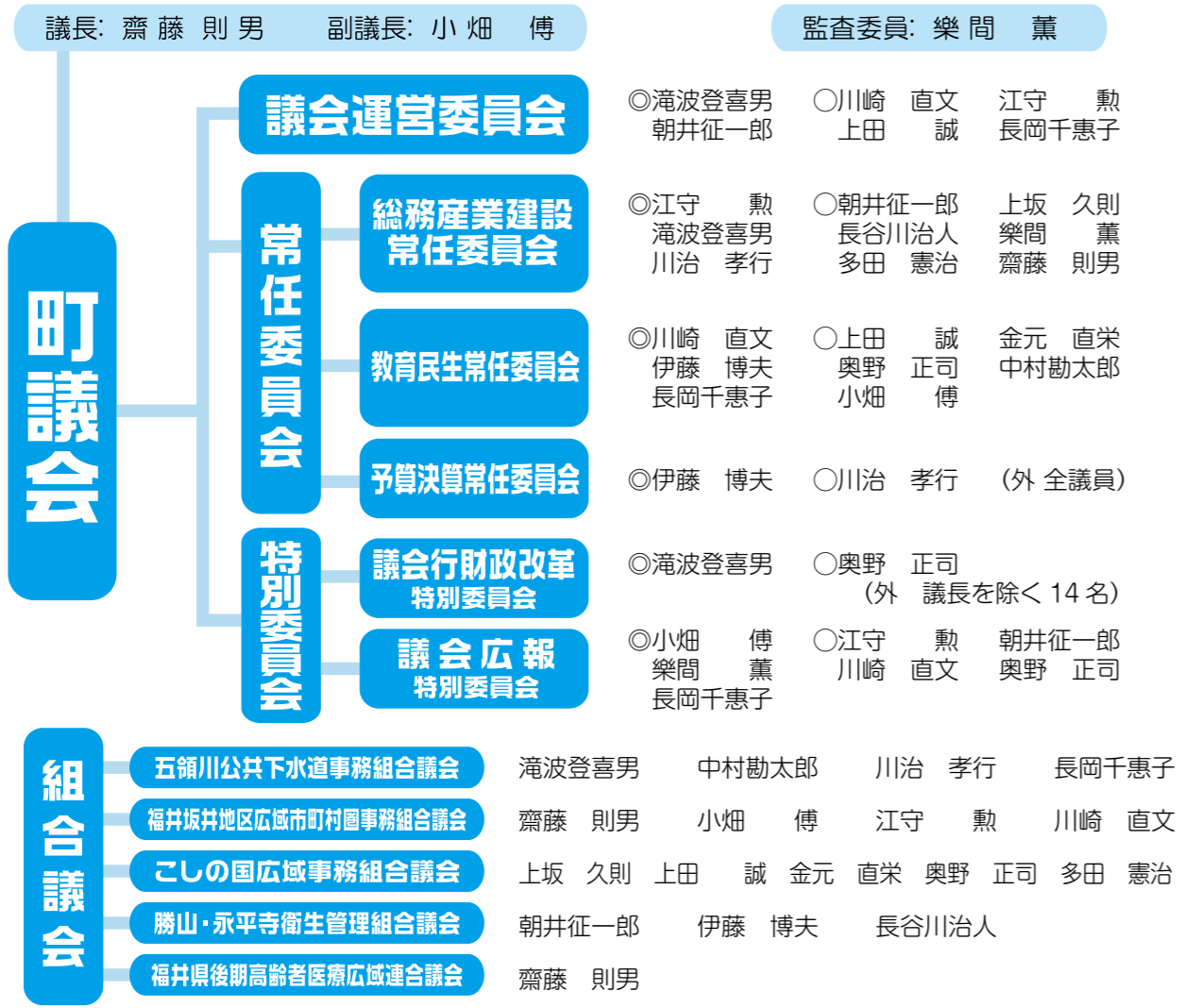


永平寺町議会

検索

# 議会の新構成

(◎ 委員長 ○ 副委員長)



# 議会と語り合

自由なご意見、お聞かせください

10月 **30**<sup>(月)</sup>・**31**<sup>(火)</sup> 会場:えい坊館・永平寺支所(予定) 時間:午後7時~9時

## 「地域の伝統文化・食文化を支えて」

…地産地消を生かした町内の特産品拡大は!

「食」に関心のある方は、どなたでも参加できます。

with 町内伝統文化・食文化を支えている各団体

町内には多くの生産団体があり、様々な活動に取り組んでおられます。そこで今回は、それぞれの団体の取り組みの現状をお聞きし、いろいろな課題や悩みなどの意見交換をしたいと思います。そして少しでも解消に寄与でき、さらにこれからの将来展望につなげていけることを目指します。また、議会・行政に対する要望事項なども併せてお聞きしたいと思います。

議会においても「永平寺町の食文化に関する条例」を制定し、地域産業の活性化を側面から応援していきます。

## 補正予算審議報告

議長 齋藤 則男

一般会計9月補正予算 総額 **1億9,060**万円

介護保険特別会計補正予算 **928**万円

- 【主な項目】
- こしの国広域事務組合ケーブルテレビ事業負担金** **1億3,078**万円  
こしの国ケーブルテレビ民間委譲に伴う清算
  - 住まいる定住応援事業** 宅地・住宅の整備 **896**万円
  - 戸別受信機購入費** 行政無線の難聴解消 **387**万円
  - 旧商工会上志比支所改修工事** 地区拠点施設として再利用 **4,370**万円

←主な質疑応答は次頁

## 平成29年 第4回臨時会報告

議長 齋藤 則男

平成29年第4回永平寺町議会臨時会を7月25日(火)に開催しました。審議された内容は、右記のとおりです。

**第4回臨時会議案**

承認第5号 一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認
----------------------------	----

## 道路橋梁総務諸経費

中部縦貫自動車道、永平寺大野道路(永平寺IC~上志比IC)開通式典経費 **15.9**万円

## 平成29年 第5回定例会中間報告

議長 齋藤 則男

平成29年第5回永平寺町議会定例会は9月4日(月)と9月12日(火)にそれぞれ審議され、可決した議案は下記のとおりです。

**第5回定例会議案**

報告第4号	報告	議案第45号	議案第46号	議案第47号	議案第48号	議案第49号	議案第50号
平成28年度財政健全化判断比率等の報告について	報告	平成29年度上水道事業会計補正予算について	可決	松岡B&G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決	こしの国広域事務組合の解散並びに解散に伴う財産処分及び事務の承継について	可決
承認第6号 平成29年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第47号 こしの国広域事務組合の解散並びに解散に伴う財産処分及び事務の承継について	可決	議案第48号 町道の認定について	審議中	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
議案第41号 平成28年度一般会計及び特別会計の決算認定について	審議中	諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について	適任	議案第42号 平成28年度上水道事業会計の資本剰余金処分及び決算認定について	審議中		
議案第43号 平成29年度一般会計補正予算について	可決						
議案第44号 平成29年度介護保険特別会計補正予算について	可決						

# 9月定例会 一般質問 問&答 そこが聞きたい!

14名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。  
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

## 一般質問：目次

- 川治 孝行 … ⑤ 川崎 直文 … ⑩
- 上坂 久則 … ⑥ 金元 直栄 … ⑩
- 長岡千恵子 … ⑥ 樂間 薫 … ⑪
- 小畑 博 … ⑦ 江守 勲 … ⑫
- 朝井征一郎 … ⑧ 上田 誠 … ⑫
- 伊藤 博夫 … ⑧ 滝波登喜男 … ⑬
- 中村勘太郎 … ⑨ 奥野 正司 … ⑭

## 主な質疑応答

### 一般会計補正予算

#### ◆総務課

**問** 戸別受信機購入費補助は防災機材の補助要領と重ならないか。

**答** 防災行政無線の聴き具合を、地図上に落として点検する必要があると思うが。

**問** ◆総合政策課  
情報推進事務諸経費は過去の財政健全化判断比率を考慮して先延ばしした費用の後処理では。

**答** (財政課) こしの国ケイブルテレビの民間委譲に伴う清算金で、間違いのない数字で表すことが理解を得られると思う。

**問** 町内転居はどうして起きるのか。地元に住居できない。

**答** いろいろな要因があるが考える必要がある。

#### ◆生涯学習課

**問** 旧商工会上志比支所の再利用で、地区拠点としてのような方向性を示しているのか。

**答** 公民館機能を持たせた多目的施設として整備する。現在、自主サークルグループ20グループが活動している。一時避難所ともなり、今、防災設備の整備も含め助成申請を行っている。

#### ◆消防本部

**問** 防災対策の助成限度は費用の1/2最高30万円はおかしい。消防ホースなどは補助率を上げる必要があるのでは。

**答** 合併以降、現在の制度となっているが、検討してみたい。

## 常任委員会報告

### 陳情第3号を全員賛成で採択

総務産業建設常任委員会 委員長 江守 勲

本委員会は、9月8日(金)に全委員出席のもと開催し、今議会にて総務産業建設常任委員会に付託された陳情2件を慎重に審査した。

**陳情第2号** フリーゲージトレイン導入が困難な中、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択について

①県内17市町全てに提出されていない。  
②前回から名目は変わったが、主旨は変わっていない。

③他市町、特に沿線自治体の動向を注視する必要がある。  
以上のことから、当委員会として継続審査とした。

**陳情第3号** 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

本件は、地方財政の安定的な行政運営を実現するため、地方交付税の拡大等に向けての陳情となっているため、当委員会において全員賛成で採択とした。

### 国保会計の推移と平成30年4月移行の課題等を協議

教育民生常任委員会 委員長 川崎 直文

9月8日(金)開催の委員会で三つ項目を協議した。

一、国保会計の推移と平成30年4月移行(国民健康保険の運営主体が市町から県へ移管)の課題

- ・平成30年度当初予算の財源見込みの精度を向上させる
- ・税算定方式を資産割を除く3方式へ計画的・段階的に移行

二、地域包括ケアシステム(医療・介護・予防・住まい・生活支援が確保される体制)の構築への進捗状況は

・地域支え合い協議会を検討する

三、地域を進める体験推進事業(児童・生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習)の進捗状況は

- ・地域コーディネーターの協力・推進が重要



志比小学校(城山学習会)

## 問 自然災害に備えた防災対策について

### 答 自主防災組織の充実に努める



川治 孝行 議員

**問** 防災無線が聞き難い。また機器操作の今後の対応と指導は。

**総務課長** 戸別受信機操作の分からない時は総務課へ連絡を頂きたい、対応する。

**問** 避難準備情報、避難勧告は何を基準に発令するのか。

**総務課長** 気象情報に基づき災害対策会議を開き発令する。

**問** 町内の水位観測所と警報水位や避難判断水位および氾濫危険水位が設置されている河川名と設置箇所と箇所数は。

**総務課長** 九頭竜川、松岡地区―五松橋、上志比地区―小舟渡、永平寺川、永平寺地区諏訪間観測所の3箇所。



増水した浅の谷川

**問** 避難準備情報発令に基づく自主防災組織活動状況は。

**総務課長** 上志比地区では吉峰川、河内川において消防団、消防職員、自主防災組織が活動。自主防災組織から区長を経て避難広報を実施。

**問** 被害状況と県への被害報告は。

**総務課長** 8月25日の被害は諏訪間地区で床上浸水1件、床下浸水3件。12ヶ所で避難所開設。永平寺支所で3人避難。一時通行止め箇所J A永平寺付近、

訪問観測所の3箇所。

**問** 自主防災組織設置の届出の必要添付書類が全ての地区から出ているのか。

**総務課長** 自主防災組織89地区から提出済。組織の規約改正、名簿、計画変更は各組織に委任している。活動費および資機材の申請があった時、年間事業計画書を必要に応じて提出する。

**問** 自主防災組織に対する自助、共助の指導育成は。

**総務課長** 今後、指導育成を行う。

**問** 自主防災組織に対する交付金の支払い内容。

**総務課長** 3ヶ年の実績。活動費230万9千円。資材購入費76万2千円。合計99万1千円。

【その他の質問】  
「後期高齢者の体力向上と生きがい」

# 問 小・中学校の統廃合は

## 答 平成32年度をメドに方向性を示す



小畑 博 議員

**問** 日本人は昔から教育には大変熱心な国民で、学校に寄せる思いは地域の教育・文化的にあるいは精神的拠点でもある。そういう意味では、教育改革が進みにくい土壌があると思う。しかし少子化が進めば、そんなことも言ってもらえない状況にきている。町内10中学校の置かれた課題は地理的・生徒児童数・

教員数、対応・地域の理解など多くあるが、これらをどのように解消するのか伺う。  
**教育長** 統廃合は町をあげての課題と承知している。行革大綱では平成32年度をメドに方向性をとっている。基準は小中学校とも12学級以上・18学級とされており、松岡小・中学校以外は見直しの対象となる。しかし地域の

学校として精神的拠点と位置付けられていることから、児童、生徒数など当該地域の意見を尊重しながら、しっかりと今後の見直しを持って検討し、平成32



松岡小学校児童の通学風景

年度には一定の方向を出していきたい。  
**町長** 町では宅地造成などを進め、若い人達に住み慣れた地元にと思っている。それから地元が学校を残したい

思いや、地域の活力を大事にしていきたい。32年にいきなり方針を出すのではなく、しっかりと話をしたい。  
**◆プレ大会の総活と国体での対応は**  
**問** 2種目を終えて課題反省はなかったか。  
**国体推進課長** 国体運営上、大変貴重な経験ができた。町民ボランティアをはじめ、皆様のお手伝いを頂き、大きなトラブルもなくスムーズな運営ができたと思っっている。今後競技団体等と協議しながら国体を迎えたい。

# 問 避難場所の安全確保がなされているのか

## 答 現状対策を見直す 本年度から



上坂 久則 議員

**問** 災害対策基本法に基づいて策定されているが災害想定の内容は。  
**総務課長** 平成25年改正で、洪水、がけ崩れ、土砂災害、地震、大規模火災、内水氾濫等を想定。  
**問** 避難場所が計画書と矛盾している。例えば、松岡地区では松岡中学校、御陵小学校、さおづ荘、ふる里学習館等に問題がある。  
**総務課長** 今年度、地域防災計画の見直しで精査中。  
**問** 上志比幼稚園も土砂災害で心配。サンサンホールへ避難できるように通路を確保すべ

きた。費用も多額ではないはずだ。  
**総務課長** 指定避難場所として小中学校、幼稚園等の公共施設26箇所を指定。収容人数1万3861人想定しています。  
**子育て支援課長** 災害時は各園から安全状況を定時確認している。上志比幼稚園対策は、園での避難状況想定、園長等の意見を踏まえ検討、協議する。  
**問** 職員の安全パトロール管理、安全管理については消防の経験・体験を活かすべきだ。避難場所に飲料水を備えるべき。  
**町長** 昨年から小中学校にビケットを用意している。飲料水も備蓄する。  
**提案** 病弱者の一時避難として社協のデイサービス、民間アパートの活用。

# 問 土曜日も児童クラブの開設を

## 答 年内をめどに方向性



長岡千恵子 議員

**問** 7月に実施した放課後児童クラブの登録児童の保護者を対象にしたアンケートの結果は。  
**子育て支援課長** 登録児童437名のうち281名の回答。土曜日在宅家庭243件。不在家庭38件。在宅家族がいるという回答の中にも父母が交代で休むや校区外の祖父母に預ける、他のサービスを利用するなどが含まれている。土曜日に児童クラブの開設の問いには見守り者が不在の家庭で33件、在宅家庭でも29件をはじめ全部で62件の方が開設を希望。

**問** 町としての対応は。  
**子育て支援課長** 開設場所や指導員の体制、施設の利用、利用料金など総合的に考えて年内をめどに方向性をだしたい。  
**要望** 実際の利用は30人程度と思われる。町内に1か所でもいいので、来年4月の開設を切望。  
**◆国体に向けて準備は万全か**  
**問** 北電体育館が会場の場合、ファミリーパークを駐車場としていたが、近くで駐車場の確保を。  
2面使用した時、観覧席の真下がゴールになる。改善方法は、選手がコートに入場時、一旦3階まで上がり、らせん階段を利用して2階のコートに入場。動線の検討が必要では。



防災の備蓄品

**◆職員労務管理について**  
**問** サービス残業の有無。  
**総務課長** 代休でカバー。  
**問** ①公務員への労基法適用は。②パワハラ、セクハラの有無。  
**総務課長** ①労使が対等で労働条件規定は適応されない。②ありません。  
**消防長** 赴任後、個人面談にて防止している。

**国体推進課長** 勝山街道沿いに2か所候補地有り。ファミリーパークは遊水池なので使用せず、遠くに駐車場を確保してシャトルバスを運行するなど駐車場

の確保に努める。  
3日目以降は1面で試合を行う。観覧席が固定なので、構造上不可能。  
動線計画を見直し、直接2階に入れるよう



北電ハンドボール会場

にした。にしたい。

## 問 地域を支える消防団員の減少



朝井 征一郎 議員

### 答 町と連携して入団促進に努める

**問** 火災発生の際には率先して消火活動している消防団。地域の頼もしい存在であり、女性消防団員は、消火訓練普及・啓蒙にあたり、私たちにとって何よりの励みになる。消防団員の減少、地域の防災力をより強化する対策、消防団への加入促進や報酬などの処遇



訓練する消防団員

改善に向けて予算を確保し、自治体で女性団員や若者の加入促進の取り組みを。  
**消防長** 消防団への女性や若者の加入については、消防団員確保推進事業を活用して公募する。特に女性消防団員の充実に努め、町と連携を密接にして入団促進を図る。  
**町長** 今、若い消防団員の不足が叫ばれており、役場の若い職員、大学生の防災サポーターの皆さんには、災害時に永平寺町に協力をしたいと言う力強い言葉も頂き、災害発生時のいろんな活動や、啓発に参加して頂くよう切望。

◆農業の新たな位置づけとして  
**問** 農山村の再生に向け農業に携わる若者へのサポート体制のあり方は。

## 問 次期永平寺町長選の出馬は



伊藤 博夫 議員

### 答 二期目に挑戦

**問** 町長は、人口の減らない町、活力ある「つよい永平寺町」のスローガンのもと、行政改革や公共施設の再編を進め、特に財政調整基金については、約6億9千万円も積み増した。さらに、各地域で立ち上げた自主防災組織、防災講座の開催などで防災力の強化に努めた。また、中学生のボランティア、若者や学生参加のまちづくり、若者によるイベント開催などを行ってきたが、これらの施策についての想いは。  
**町長** 一番の課題は、人口減少をいかに食い止めることができる



永平寺町役場正面

か、また高齢化が進む中で、いろいろな施策を考え、若い人たちの連携やイベントの企画といった「火種」を大切にしたい。  
**問** 今後10年の町政の方向性や将来像を示した「第二次総合振興計画」を策定し「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的に地方創生を推進しているが、今後の想いは。  
**町長** 将来への投資を行いながらも、将来に負担を残さないよう、確実に行政改革にも取り組んでいく。

## 問 えい坊館と駅前近隣の相乗効果を!

### 答 民間感覚で利活用



中村 勤太郎 議員

**問** えい坊館の来客数、年齢層、その方々の活用度合いは。  
**商工観光課長** 今年度4月から8月の5カ月で、1万4946人、月平均3000人。年齢層は、一般来客者の方は50〜60歳以上の方の中高年齢層の方が多く、放課後や夏休み期間中には多くの小中学生が来館となった。また、えい坊くんの人形

焼きが、7月から第2・第4日曜日に販売を開始し好評を得ている。  
**問** オープンし施設で様々な企業や団体・小グループの方々が会議やイベント等で利活用されている状況は。  
**商工観光課長** 5カ月間で、利用団体数は164件。月平均30件以上。利用者数は2995人で、月平均約

600人で、役場が関係する委員会等に46件、28%。商工会や社会福祉協議会が14件、8.5%。企業や事業所が20件、12.2%。地域の高齢者サロンや健康長寿クラブで11件6.7%。幼児・小中の育成団体で9件、5.5%。社会教育団体・公民館講座等で25件、15.2%。その他一般、私的な利用で30件18.3%。利用内容では、コーラスグループコンサートや、個人・団体による



にぎわいの松岡ホコ天パワーボム!

フラワーアレンジメント教室。また紙芝居を定期的に実施していることや、地区高齢者を対象としたサロンを、ミニ遠足的にえい坊館を利用されている。  
**問** 松岡ホコ天パワーボム!と称し、松岡駅前

**問** 経済産業省に選定された地方版IoT推進ラボ、自動走行実証事業、若者が参加するまちづくりの推進など、これからの町にとって重要な継続事業が  
**町長** 門前開発、自動走行事業誘致、企業誘致による地域の振

興発展は大切な事業であり、来年の福井国体など、3年半で種をまき、芽が出てきた事業を二期目で引き続き挑戦させて頂きたい。

前通りの活性化を目的に、各種団体や企業が協賛し、町おこしイベントを開催は大変意義深い。今後も地域おこし・駅前おこしとして、町民に愛されるえい坊館であってほしいが。

**町長** えい坊館は、このパワーボムだけでなく、イベント企画で多く使われるようになってきている。普通の公共施設と違い、町民が使いやすく、民間感覚で多くの人に使ってもらえるよう、今後もあらゆる手段・手法で頑張る。

# 問 「町長とすまいるミーティング」の役割は

## 答 町民の生の声を聴く



楽問 薫 議員

町長が自分の時間を割いても開いているこの会について聞きたい。

先日私の地元薬師1丁目区民24名が参加して開催された。まず町長の永平寺町の現状と将来の展望が発表・説明され、次に区から提出されていた要望等について町長から返答が発表された。その後、参加者から身近な案件

から町政に向けてのこのなどの要望から意見が出され町長が一件一件について答え、即答出来ない案件については、後日区長を通じて返答することを約束して閉会した。



薬師のすまいるミーティング

# 問 地区振興協議会の設立・運営支援は

## 答 全庁で支援する



川崎 直文 議員

第3次行財政改革大綱実施計画の具体内容で、地区振興協議会を中心とした住民自治の推進がある。平成32年度の到達目標は、地区振興協議会の組織化7地区。この計画を確認する。

地区振興連絡協議が設立されている4地区



計画。どこの地区か。生涯学習課長 公民館活動、また公民館長と連携し、永平寺地区の志比南地区で進めている。

そして独自性を持って例えば道路等の整備、各行事の運営等を検討してほしい。

地元の皆さんと行政が一緒になり、相互理解の元、地区振興協議会ができ、運営していくことが大事。

【その他の質問】 地域の大雨対策を急ぐ。流域の流下能力を上げる。\*「流下能力」川が流すことのできる洪水の規模のことで流量で表現する。

# 問 子育ては町が責任を持つ安心感

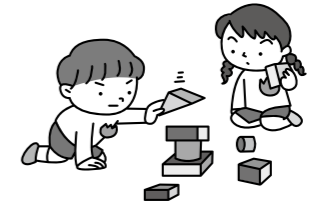
## 答 園運営のあり方を検討中



金元 直栄 議員

町の行政改革に幼児園の民営化と検討するとある。議会では民営化を早く進めるの質問も出た。この方針の放棄を求める。

子育て支援課長 少子化の進む中、保育の質を維持し、さらに高めるためにどうするのかの視点で考慮。



支給は見送った。 ◆準介護保険法の変更と町の課題 国会では十分な議論もせず強行して介護保険関連法が通過。

地域包括ケア強化法というが、狙いは利用者の一部三割負担やサービスの利用制限。さらに、地域が要介護者を見守る法律まで制定とは。

福祉保健課長 地域包括ケアシステムの強化を主として、持続可能な制度を目指している。被保険者も積極的に介護予防に努める必要がある。

良いが、地域の人たちの話を町長が直接聞くのも大切だと思う。

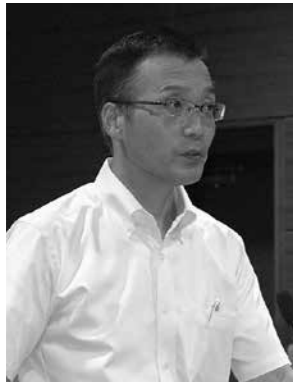
町長 今、皆さんの生の声で関心事を聞かせていただき、県などに要望していく案件等も一件一件を大切に对应していきたい。

# 問 自動運転がもたらすもの

## 答 少子社会を補える

**問** 自動運転は、高齢化や少子化、産業の育成、観光の復活など、様々な課題解決の突破口となり得ると言われているが、その可能性はあるのか。

**町長** 小型電動カーを過疎地で活用する実験研究として、免許返納した方がボタンを押したら目の前に車が来て乗ったり、農作物等、買いたい物が



滝波登喜男 議員



自動走行工作キット

**◆学校の「不思議」の解決を**

**問** 学校には慣例や前例踏襲で行っていることや、立場が変わると悪いことになるものなど、「不思議」と思わ

運ばれてきたり、除雪を自動運転で行うということになった技術確立を目指す企業が、実験場所がある本町に目を向けている。

れることがたくさんある。その中から、①部活動は週2日休むよう国や県から指導があるが実態は、②部活動の移動に保護者が運転し事故が起きているが、当町では、③無言清掃・無言給食は先生が管理するため楽しくないが。

**教育長** ①平日は月曜、土日はどちらか一日を休むことになっている。ただし、松中女子バスケットは強化校なので例外としている。②各校に部活動強化推進事業として予算化している。しかし、それ以上かかる場合

【その他の質問】  
「人手不足、人材確保に向けて」

は、保護者会にお願いしている。③無言給食は上志比中で行っている。意図は感謝の心を育てる。無言清掃は全国に反響があり、勤労する「学校に感謝する」という心を育てる。今では県内のほとんどの学校が取り組んでいる。授業前の黙想とか校門での礼とかも取り入れている。



**総務課長** 各地区の実情に合ったマニュアル作りを行政、消防も一緒に支援していく。

# 問 国や県と連携した町の施策の展開は

## 答 町益になるよう結びつけていく

**問** 経産省が永平寺町 IOT 推進ラボを選定したが、何を期待するのか。

**町長** 自動運転実証実験などの最先端技術を使った実験モデルを作り、町の利益に結びつけたい。

**問** IOTへの町内の参加者は。

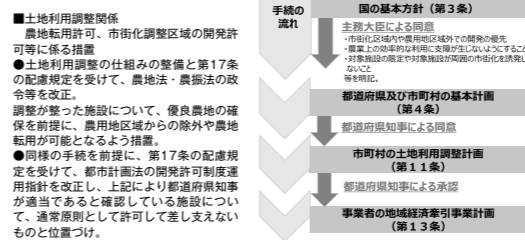
**総合政策課長** 町商工会・地元金融機関・大学・IT企業・通信関係の民間企業に参画してもらいたい。

**問** 地域未来投資促進法を活用し、企業誘致など投資を呼び込もうとしているが、現在、本町の企業進出の件数は。



江守 勲 議員

主な支援措置【規制の特例措置等①】



地域未来投資促進法概要版

すくなるのか。

**町長** 認定されれば農地転用や開発行為の許可などに係る配慮が適用される。

**総合政策課長** 地域未来投資促進法に認定されたら、企業が地域索引の事業計画を提出し県知事の認可が必要となるが、その業種が地域経済を牽引する事業を行うということが重要となる。

**総合政策課長** 金融機関への相談が14件、農振除外申請中や相談・協議中が4件、条件や事情により計画が白紙になったのが3件。

**問** 本町には福井北インターや中部縦貫自動車道のインターが5つあるが、企業進出が進まない原因は。

**総合政策課長** 北インター付近の問い合わせが多いが、市街化調整区域と農振農用地区域で開発行為が制限され、農地転用も規制が

# 問 子どもの貧困に救う手立てを!

## 答 一人一人を大事にきめ細かく対応

**問** 子どもの貧困は12年6人に1人15年7人に1人。ひとり親世帯では2人に1人の実情。(年収100万未満29%、100万〜200万35%、主要34先進国中ワースト1)貧困と言ってもきちんと服を着て学校に通っている。平成27年に生活困窮者自立支援法が施行され、自己責任論より社会全体で負う必要が示された。当町の体制は。

**福祉保健課長** 同法は自立、就労の相談生活一時金、学習支援などの措置で町はケース会議を設け訪問等早期



上田 誠 議員

の支援体制を取っている。

**問** 特にひとり親では所得の安定(生活支援)と同時に学習、食料支援が子どもにとって進学、就労に大きく関わる。

**福祉保健課長** 27年か永平寺支所を会場に開設。今年10月より上志比支所でも開設し一人一人を大事に学習支援していく。

**◆介護・認知にない活動の展開を**

**問** 総合事業への移行で地域包括ケアシステムでの介護・生活支援・認知症対応が重要。特に初期段階での介護。認知にならないための健康維持活動の展開が必要。活動のキヤラバン体制で運動展開を図り町全体の動きの展開を。

**福祉保健課長** 筋卜

議会・各委員会の議員出欠状況

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退
一…員外 傍…傍聴 吊…吊事 研…研修

Table with columns for date, committee name, and attendance status for various council members like 上坂久則, 滝波登喜男, etc.

問 まちひとしごと創生総合戦略の進捗



奥野 正司 議員

答 施策の結果検証し推進

「H29、H38の町総合振興計画10か年計画の基本目標」は、H38年人口19、200人維持。その基本目標達成の先駆けと位置づけた「まちひとしごと創生総合戦略」H27、31の取組も半ばが過ぎる今、本町の人口減少が進み、毎年対前年減少が続く。減少傾向線から判断しH38年19、200人維持は至難。施策の有効性確認指標の検証管理は、総政策課長 目標40項目中達成は14、達成に向けて途上26。11月に検証委員会開催。基本目標達成に向け個別施策の有効性を含め検証し内容変更も含め取り組む。

町長 本町の10年後に必要な事項として定めた人口減対策、人口トレンドの右肩上がりへ向け規制改革等の働きかけを含め取り組む。H18作成の企業立地促進条例。町内雇用創出や真に町民の雇用増加、転入増を含む人口増加には業種指定見直し含む条例見直しも必要では。総政策課長 地域経済を牽引する企業の進出を促す制度とすべく、国の地域未来投資促進法に沿った形の条例改正も必要と考える。町総合振興計画には障がい者が活動に参加しやすい環境づくりと就労の促進に向けた取組が必要があると謳う。県内9市8町で、他の市・町に有って、永平寺町に無いものは障がい者の自立支援、就労支援施設。その後状況は、福祉保健課長 就労継続支援A型事業所開設の相談を受けており、開設にあたり地元理解の支援をお願いしたいといわれている。

Table showing demographic and economic data for various municipalities, including population, employment, and business statistics.

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

Weekly broadcast schedule table for administrative channels, listing dates from Oct 27 to Nov 1 and corresponding programs like '臨時議会' and '一般質問'.

町議会クイズ (Town Council Quiz) section with 6 questions (Q1-Q6) and hints (ヒント) for each, such as '指定避難場所の公共施設26箇所の想定収容人数は。' and '本町の財政調整基金はどれ位か。'

\*\*\* 12月定例会日程は決まり次第お知らせ致します \*\*\*



老人クラブから健康長寿クラブに名称変更

# 健康寿命を延ばすこと、 後世に知恵や経験(体験)を伝えること!



健康寿命を延ばすことを目的に、老人クラブから健康長寿クラブに名称を変更し、まず取りかかったことが、介護・認知症予防のため「健康長寿3年日記」の作成・普及や、69年前の福井大震災を紙芝居にして後世に伝えることだった。



## 福井大震災の紙芝居作成

まず、永平寺町内に各戸配布のチラシで震災に遭われた方の体験談や状況写真を広く募集した。体験談は43名から寄せられ、被害の大きかった松岡地区の住民を中心に作文が集まり、それを基に冊子の作成に取りかかった。その後、当時の悲惨な様子を紙芝居用の語り部の台詞として編集し、それを基に絵を描き紙芝居を完成させた。



※今から69年前の昭和23年6月28日午後5時14分に福井大震災が突然起きた。わが永平寺町では旧松岡町、吉野村、五領ヶ島村、志比谷村、下志比村において死者240人、負傷者392人、全半壊・焼失1804戸、町内各所から火の手があがり地獄絵のような光景だった。

## 健康長寿クラブ連合会

### 語り部の会発足

紙芝居完成後は、14人で語り部の練習に取りかかった。自らの体験を持つ高齢者が減少する今、その体験を教訓として次世代へ語り継ぐため平成28年6月28日に「福井大震災 語り部の会628」を発足させた。

現在、永平寺町内の小・中学校や、町外の老人施設などで紙芝居を開催しており、年内には全ての小・中学校を廻り地震の怖さを子ども達に伝え、防災の啓発につなげたい。子ども達からは、「自分たちと同じような世代の子が地震で怖い体験をした話を聞いて驚いた」や、当時の様子を思い出し涙を流すお年寄りもいた。

(和田高枝連合会会長 談)



この活動が高く評価され、10月25日に、福井県老人クラブ大会において全国老人クラブ連合会長表彰「活動賞」の受賞が決まった。

(江守 記)

発行責任者  
議長 齋藤 則男

朝井征一郎・楽間 薫  
川崎 直文・奥野 正司  
長岡千恵子

副委員長 江守 勲  
委員 小畑 傳

議会広報特別委員会委員

皆さんのご意見をお聞かせください。  
(楽間 記)

編集者のひと言